

オシゴトシァター9







いっしょ

暗い森は一人で
心細かったでしょう？



本当にありがとう
お姉ちゃん



俺みたいな獵師を
家に上げてくれただけでなく
飯までいただいたちまって…



こんなやさしい人が
魔女のわけねえ！

まったく村のみんなは
心配性なんだから



どうぞ

クワン



うまつ

こんなうまい肉
初めて食った

昨日の夜から友達が
仕込んでくれたお肉なの

遠慮せずどんどん食べて
❤️

もい

もい



こんばんわ♥

あらお客様？

はっはい！



すごい恰好…
ほとんど裸だあ

貴族の人は平民に
いくら見られても
平気って聞くけど

コッ

コッ



お待ちせうなのです♪
歌織ちゃん

カチャ



ごちそう
なの♥♥♥

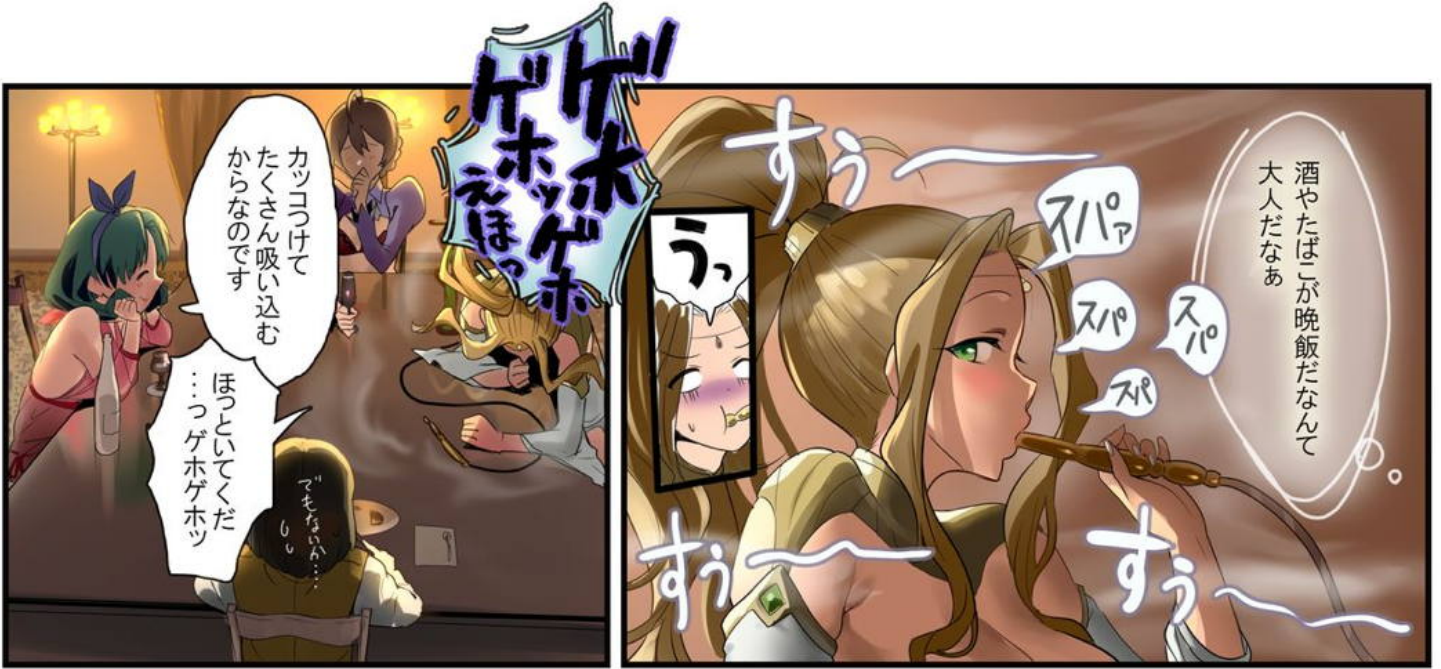
私たちには
これが一番の



すみません

俺だけ先に
いただきますって…

ふふ—
気にしないで♥



酒やたばこが晩飯だなんて大人だなあ

カッつけて
たくさん吸い込む
からなのです

ほつといてくだ
…っゲホゲホッ

まもろいかな...

う

スパ

スパ

スパ

スパ

すう

すう



やさしい……
な……



ありがとうございます……
……います……

はじめは魔女の館かと思
つてビビってたけど
姉ちゃんたち

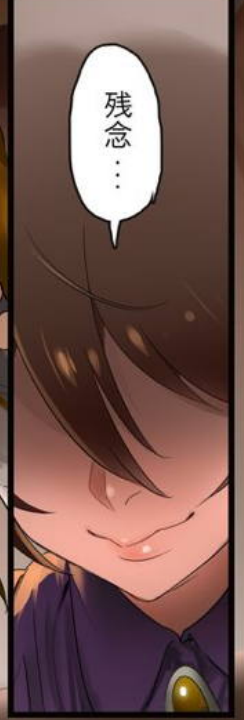


ところで——
今夜は泊まっていたら
どうかしら

そうなのです

外はもう暗くて
危ないですよ？

ここは魔女の館ですよ



残念……







早く舐めてーね♡

見ての通りなのです♡
今夜はお姉さんたちの
相手をしてほしくて…



な…?
何してるんですか!

えっ?
あ…?



八チミツみたいに
体温まって…

ほ♡
ほ♡

ほ♡

これが女の…!!!

頭しびれるみたいだ

たぷん♡

たぷん♡

はぁ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃるるる



ぐちゃぐちゃ
ぐちゃるるる…!!!



こんなおいしそうなモノ
見せつけられては……
うう

私にも換わって
下さらない？

いーニオイ♡

慌てなくても
この子はもう
姫たちのモノ——

なのでですよ♡

なるん♡

なるん♡

おちゅ♡

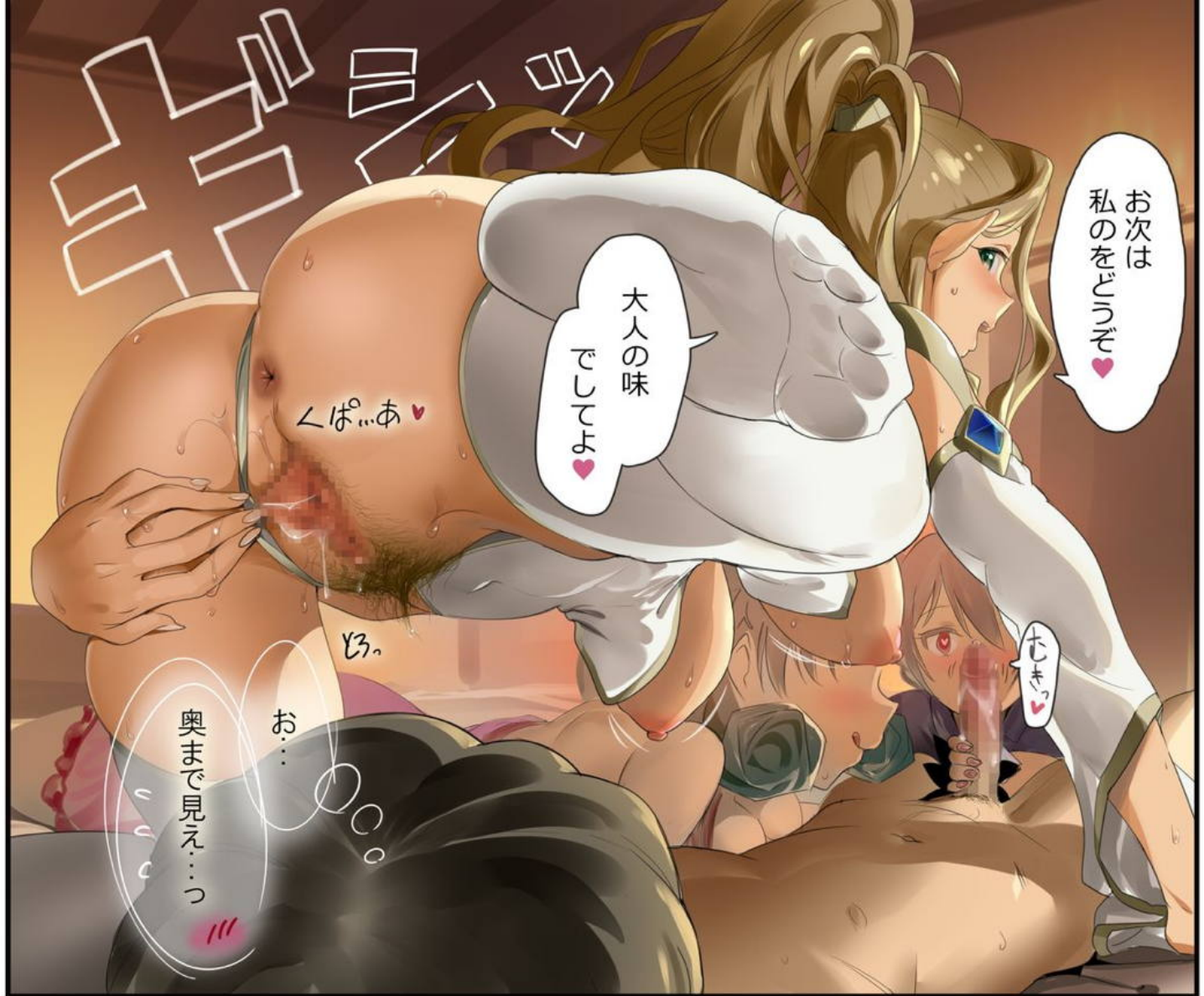
ほ♡

ほ♡

ほ♡

♡

♡♡





手がお留守になつてますわ

ん

ホラもっと強く
……ああ

はあ

おっぱい

おっぱい

は

おっぱい

ズツツ

私はもう少し
初々しいほうが……

あ
イキネろし

姫はこのくらい
ぱわほー！なのが
好みなのです

ほ？

まっりちゃん
ちよつと大きくしすぎ
じゃないかしら

じゅぽ



ン...はあ♡
こんなにたくさん...
せーしの噴水なのです♡

あつ...
スゴイ...♡♡♡

ビュッ♡
ビュ♡

ビュッ♡
ビュッ♡
ビュッ♡



好みはそれぞれだね

おいで



歌織ちゃん...
姫はこの子をもっと
味わいたいのです

そうね...
どのみち3人では
足りないし



びゅっ♡
はっ♡





たくさん突いて
かき回してほしいの…♡



△ぽ…ぁ♡

私—
今夜はお尻が疼いて♡



逆らえ…ない

ああ—
でも



こっ…
こんな所に
入れて大丈夫
だろうか？

ムキ
ドキ

ちゅぽ…♡



ん…♡

ぬ…ぽ…ぽ…ぽ…♡

せりせり！



一番深くで
キモチいいトコロ



IP IP
IP IP

ああああ

IP IP IP
IP IP IP

ちゅぽちゅぽ、ちゅぽちゅぽ、ちゅぽちゅぽ



あ...あ

思いつきり
ほじくられて
...♡♡♡♡

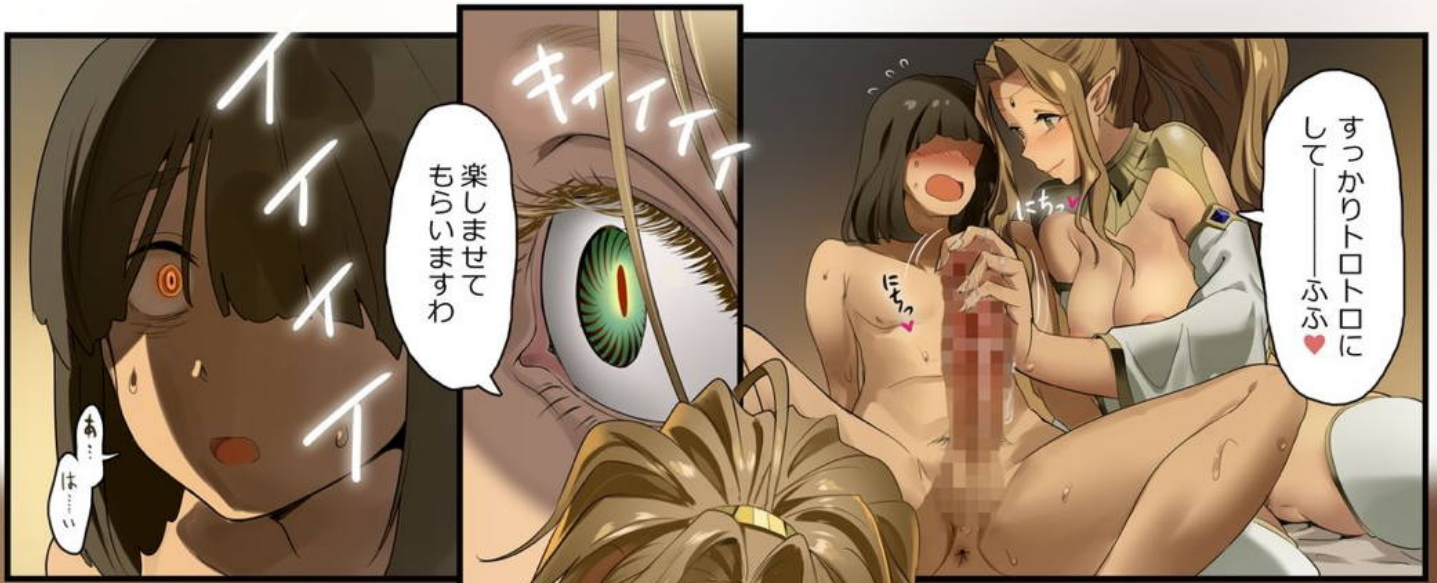
!!!

!!!

ドクドク
ドクドク
ドクドク

ちゅぽちゅぽ
ちゅぽちゅぽ
ちゅぽちゅぽ

グ
ちゅぽちゅぽ
ちゅぽちゅぽ
ちゅぽちゅぽ





はあ... はっ♡

ダメです俺... いい... イキそうっ♡

たっ♡ たっ♡

よくってよ♡ 何回でもイッて...

せんぶ中...♡

あはあ♡♡



あん♡

あッ♡ あッ♡

こ...腰が

パッ! パッ! パッ!



ふん♡

止まらない...!

あはあ!



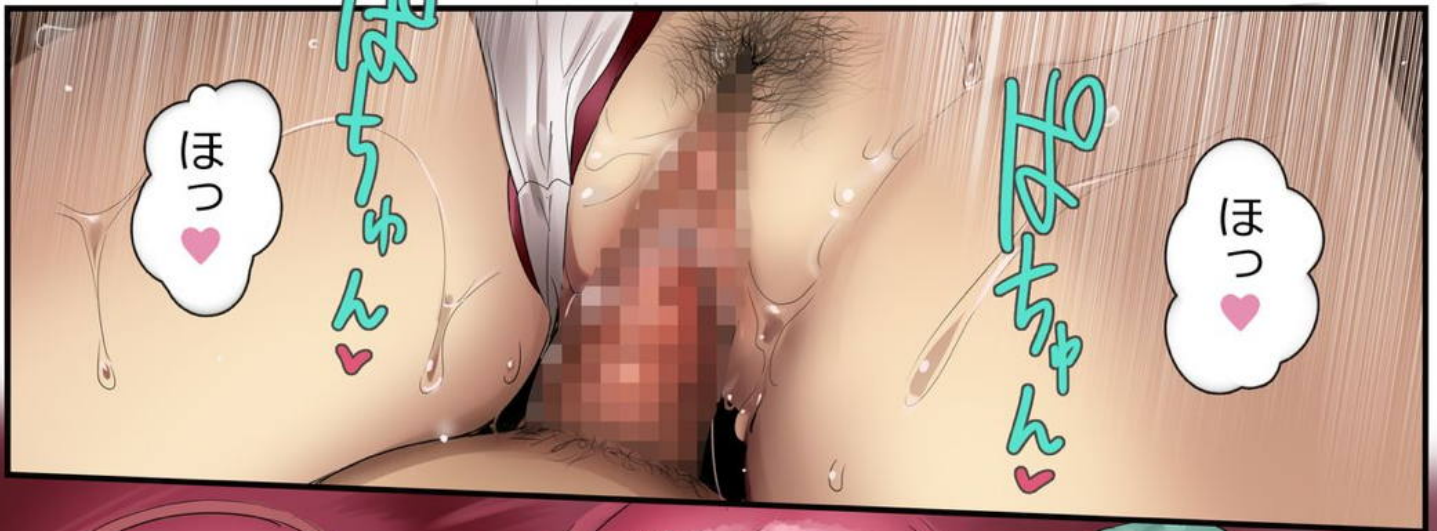
あはあ♡♡

びびるるるる♡

びびるるるる♡

びびるるるる♡

はあ♡



ほっ♡

ほちゅん♡

ほちゅん♡

ほっ♡



とくつても 仲良しさん♡

ほっ♡
姫のおまんこと 貴方のおちんぽ♡

ほっ♡
姫の腰振りに ピッタリ吸い付いて♡♡♡♡



秘密のお部屋が ノックされてるのです♡♡♡

あっ♡

コトミ



扉を開けて……っ♡

うれしいのですが♡

中身はもちろん

……ね♡

ドカッ!

ジュポ! ジュポ!



あっ♡

ふあ……あ♡

ほ……♡

中出しきたあ……♡♡♡

ズジュズジュ

ジュジュジュ

ジュジュ!

あ♡

あ♡

ジュジュ!



まだまだいけるはず
その証拠に

10回も出して
ませんかよ?

はあっはあ...

きょ...
もうキツイ

ぱん! ぱん! ぱん!



どんどんピストンが
速くなって...❤️

あなたの腰は
止まらないのですよ?

はあ、
はあ、
はあ、

ぱん! ぱん! ぱん!

わんだほー❤️❤️❤️
なのです

あっ

あっ



ホントに...
ホントに...
もう出ないから...

いつ...痛い!

もう帰して...

ぱん! ぱん! ぱん!

はあ、

はあ



ナイス
まつりちゃん♡

ほら♡
まだイける...

えいつ♡



ぶるん

とろろ...♡

ぽろぽろ

ぽろぽろ!

とろろ...♡

私達が満足したら
帰してあげる♡



は...
ははっ...

ぽろ
ぽろ



P3



お役に立てて
うれしいですわ

とんでもございません
この辺りは地元の間でも
迷いやすい森ですから



いやあ——
助かりました



暗くなって案内の印も
見えず途方に暮れて
いたもので…



早摘みの
りんごです♥
お気に召したなら
もう一杯
いかがですか？



程よい酸味が
とても良いですね
何の酒ですか？

THE IDOLM@STER MILLIONLIVE!
FANBOOK by Werk

オシゴトシアター9

著者: 安藤周記、katze

発行日: 2018.12.31

印刷: 栄光

HP: www.werk-zwei.jp | pixiv: 1379902 | Twitter: Werk_Staff